

もちつき感謝祭



▲餅つきの様子

12月14日、関保育所でもちつき感謝祭が行われました。もち米から餅になっていく様子に興味津々の子ども達は、一人ずつきねを持ち餅つきに挑戦しました。「美味しいお餅になりますように」とお願いをしながら「がんばれ」「よいしょ」のかけ声に合わせて一生懸命餅をつきました。納豆餅、あんこ餅、きなこ餅、お雑煮と沢山の種類の餅を「美味しい」「おかわり」と口いっぱい頬張り、大満足の餅つきとなりました。

小中合同総合学習発表会



▲堂々と発表しました

12月14日、小中学校合同総合学習発表会が行われました。小学5・6年生は町の歴史学習で学んだことやより良い町にしていくための案を発表しました。中学1年生は町について8ヶ月間学んできたこと、2年生は南三陸での校外学習や白石での職場体験を通して学んだこと、3年生は東京都でのPR活動や福祉学習、わらじで歩こう七ヶ宿への参加で学んだことを発表しました。今後の課題についても考え、来年度の活動に意気込みを見せていました。

わらじ作り講習会



▲上手にできました

12月15日、高齢者センターで町内の方3名が講師となり、6名の方がわらじ作りを体験しました。初めての方は「思っていたより均等に編んでいくのが難しい」と講師の先生の手さばきに関心していました。何回か講習を受けている方は「人に教えることで慣れてきた。後継者になれるかな」と嬉しそうでした。次回は1月19日に開催しますので、ぜひご参加ください。詳しくは広報しちかしゅく11月号をご覧ください。

人権教室開催



▲困っていることについて話し合う様子

12月6日、七ヶ宿中学校で外国人に対する国際理解について人権擁護委員会の方による人権教室が開催されました。外国人との交流でお互いに困ることを書き出し、解決策についてグループごとに発表しました。活発な意見交換の中で、言葉や宗教、文化の違いはあるが、それぞれの違いを理解し尊重することが大切との意見がどのグループからも出されました。生徒達は人権について真剣に考え、国際理解がより深まった授業となりました。

スワッグ作りに初挑戦！



▲素敵なスワッグができました

12月7日、社会福祉協議会主催の介護者交流事業が開催され、蔵王町花のさとうの佐藤直樹さんを講師に「スワッグ作り」が行われました。スワッグとは植物を束ねて飾り付けをし、玄関や部屋に飾る壁飾りです。木々の匂いに癒されながらドライフラワーやまつぼっくりなどを思い思いに飾り付けをし、個性溢れるスワッグが完成しました。「家が華やかになるね」「クリスマスにぴったり」との声が聞かれ、皆さん大満足の様子でした。

心身健やか児童・生徒賞、作文賞受賞！



▲受賞された4名の方々おめでとうございます

12月11日、町役場において白石刈田学校保健会主催の「心身健やか児童・生徒賞、作文賞」の表彰式が行われました。学校生活において推薦される児童・生徒賞には、日本舞踊やレーシングクラブに所属している田部なつみさん(小6)、陸上で県大会に出場した鎌形千宝未さん(中3)、作文賞には「今の私」と題して高橋明日香さん(小6)、「お父さんへ」と題して吉野莉世さん(中3)が表彰され、作文を朗読しました。